

# としま 区議会だより

平成30年  
第1回  
定例会

No.262

広報編集委員会  
豊島区議会事務局

〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1

03(3981)1453 http://www.city.toshima.lg.jp/kuse/gikai/  
FAX03(3981)3975 E-mail A0028903@city.toshima.lg.jp

平成30年(2018年)5月1日発行

## 平成30年度 予算を可決

平成30年第1回定例会は、2月14日から3月26日までの41日間にわたって開会されました。

今定例会では、平成30年度一般会計予算及び3特別会計予算等について審議が行われ、区長提出議案44件を可決、議員提出議案は7件を可決、2件を否決し、報告4件を了承しました。

請願・陳情は、2件を採択、4件を不採択、新たに1件を閉会中の継続審査としました。



予算特別委員会の様子

### 可決した意見書

「情報・コミュニケーション法(仮称)」の制定を求める意見書

(衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、総務・厚生労働・内閣府特命担当大臣(一億総活躍)あて)

特定都市再生緊急整備地域の指定見直しについての意見書

(衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、東京都知事あて)

政治分野における男女共同参画の推進を求める意見書

(衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務・内閣府特命担当大臣(男女共同参画)あて)

財務省による国会提出文書書き換え問題に関して真相究明を求める意見書

(衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、総務・財務大臣あて)

### 豊島区議会会議規則を改正しました

欠席の届け出に関して、その理由を具体的に示し、真に男女共同参画を考慮した議会活動を確立し、本人やその家族の生命に関わることに対応しながらの議会活動を促進するため、左記のとおり、条文を改正しました。

### 第2条

議員は、事故のため出席できないときは、その理由を付け当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。

議員は、疾病、出産(配偶者の出産を含む)、家族の看護又は介護、事故等の事由のため出席できないときは、その理由を付け当日の開議時刻までに議長に届け出なければならない。

## 「第4回議会報告会」を開催します!!

日時：5月12日(土)  
午後2時～午後4時

土曜日  
初開催!!

場所：としまセンタースクエア(区役所本庁舎1階)  
内容：区議会のしくみ、第1回定例会の予算特別委員会、常任委員会の内容を報告

\*参加申込み不要。  
お子様連れの方もご参加ください。  
※手話通訳あり(事前申込み不要)

【問い合わせ先】  
区議会事務局 議事グループ ☎03-3981-1453

### 主な掲載内容

- 議案等の審議結果一覧 ..... 2面
- 区政のここが聞きたい  
～一般質問(要旨)～ ..... 3～6面
- 常任委員会Q&A/  
予算特別委員会 ..... 7～8面

2月13日付で議会活動のために使用する名称を変更しました。  
・「社民党」↓「虹としま」

### 名称の変更



糸魚川市防災センターにて

糸魚川市消防本部では、平成28年に発生した糸魚川市大火の概況や復興状況及び今後の課題について説明を受けました。新潟県庁では、職員が佐渡市での大規模断水の対応にあたっていたため、直接お話を伺えませんでした。直接お話を伺えませんでした。視察の詳細は、ホームページの視察報告書をご覧ください。

### 防災・震災対策調査特別委員会視察報告

本委員会は、平成30年1月30日から31日にかけて糸魚川市消防本部及び新潟県庁を視察しました。

○：可決に賛成 ×：可決に反対

議案等の概要と審議結果			自民党豊島区議団	公明党	日本共産党	民主ネット	都民ファーストの会	刷新の会	無所属元気の会	虹としま	結果	
報告第1号	専決処分の報告について	交差点角に設置された区所有のスタンド灰皿が強風で横倒しになり、相手方が所有する自動車が破損した事故について、区が相手方に損害賠償金を支払うこととした和解の専決処分を報告する。									了承	
報告第2号	専決処分の報告について	ごみ収集作業中に職員が接触した自転車が横倒れとなり、相手方が所有する自動車が破損した事故について、区が相手方に損害賠償金を支払うこととした和解の専決処分を報告する。									了承	
報告第3号	専決処分の報告について	高齢者医療年金課窓口において、相手方が職員の案内で椅子に着席した際、着衣が汚損した事故について、区が相手方に損害賠償金を支払うこととした和解の専決処分を報告する。									了承	
報告第4号	専決処分の報告について	区民ひろば南池袋2階において、区と区民ひろば運営協議会の共催イベント終了後の後片付け作業中、立て掛けてあった引き戸を過失により倒し、相手方を負傷させた事故について、区が相手方に損害賠償金を支払うこととした和解の専決処分を報告する。									了承	
第1号議案	東京都後期高齢者医療広域連合規約（一部変更）	東京都後期高齢者医療広域連合の経費の支弁の方法を変更する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2号議案	豊島区附属機関設置に関する条例（一部改正）	豊島区公文書管理のあり方検討委員会、豊島区税制度調査検討会議、池袋副都心移動システム運営事業者選定委員会及び豊島区地域公共交通会議を区長の附属機関として位置付けるとともに、附則において豊島区附属機関の構成員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正し、当該委員の報酬を定める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第3号議案	豊島区行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例（一部改正）	要配慮者用住宅の管理に関する事務において、個人番号の利用を可能とする外、規定の整備を図る。	○	○	×	○	○	○	○	○	×	可決
第4号議案	豊島区手数料条例（一部改正）	旅館業法及び建築基準法の一部改正に伴い、規定の整備を図るとともに、居宅介護支援事業等の業務移管に伴い、審査手数料規定を廃止する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第5号議案	豊島区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（一部改正）	議員報酬の額を改定する。	○	○	×	○	○	×	×	○	○	可決
第6号議案	豊島区長及び副区長の給料等に関する条例（一部改正）	区長及び副区長の給料の額を改定する。	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第7号議案	豊島区監査委員の給与等に関する条例（一部改正）	常勤の監査委員の給料の額を改定する。	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第8号議案	豊島区教育委員会教育長の給与等に関する条例（一部改正）	教育委員会教育長の給料の額を改定する。	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第9号議案	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例（一部改正）	一般社団法人豊島区観光協会及び公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会への職員の派遣を開始する。	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第10号議案	職員給与に関する条例（一部改正）	人事委員会の勧告等に基づき、扶養手当額等、給料表及び等級別基準職務表を改める外、所要の規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第11号議案	幼稚園教育職員の給与に関する条例（一部改正）	人事委員会の勧告に基づき、扶養手当額等を改める外、所要の規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第12号議案	豊島区町会活動の活性化の推進に関する条例	町会活動の活性化の推進に係る基本理念を定め、町会の位置づけ、区の責務並びに町会、区民及び事業者等の役割を明らかにすることにより、区民相互がより強いつながりを持った地域社会を形成し、もって良好な地域コミュニティの実現を図る。	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第13号議案	豊島区後期高齢者医療に関する条例（一部改正）	持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律及び持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令の施行に伴い、規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第14号議案	豊島区指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等の基準に関する条例（一部改正）	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第15号議案	豊島区障害支援センター設置条例を廃止する条例	豊島区障害支援センターが地方自治法第156条第1項に定める行政機関ではなくなる。	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第16号議案	豊島区立心身障害者福祉センター条例（一部改正）	豊島区立心身障害者福祉センターの位置を変更する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第17号議案	豊島区立障害者福祉施設条例（一部改正）	豊島区立駒込生活実習所、豊島区立目白生活実習所、豊島区立駒込福祉作業所及び豊島区立目白福祉作業所の位置を変更する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第18号議案	豊島区介護保険条例（一部改正）	平成30年度から平成32年度までにおける保険料率を定めるとともに、保険料の減免の基準を改める外、規定の整備を図る。	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第19号議案	豊島区指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営等の基準に関する条例（一部改正）	地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律の施行及び指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第20号議案	豊島区指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営等及び指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例（一部改正）	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正等に伴い、所要の規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第21号議案	豊島区指定居宅介護支援等の事業の人員、運営等の基準に関する条例	豊島区における基準該当居宅介護支援及び指定居宅介護支援の事業の人員、運営等に関する基準を定める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第22号議案	豊島区保健所の設置等に関する条例（一部改正）	長崎健康相談所の位置を変更する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第23号議案	豊島区住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例	住宅宿泊事業法の施行に伴い、届出手続及び住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関し、必要な事項を定める。	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第24号議案	としま区民センター条例	としま区民センターの開設に伴い、設置、管理及び運営について必要な事項を定めるとともに、附則において豊島区立生活産業プラザを廃止する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第25号議案	としま南池袋ミーティングルーム条例（一部改正）	豊島区立生活産業プラザ閉館に伴い、としま南池袋ミーティングルームの貸出区分等を変更し利便性を向上させる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第26号議案	豊島区立芸術文化劇場条例	豊島区立芸術文化劇場の開設に伴い、設置、管理及び運営について必要な事項を定める。	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第27号議案	豊島区トキワ荘関連施設整備基金条例	地方自治法第241条第1項及び第8項の規定に基づき、豊島区トキワ荘関連施設整備基金の設置、管理及び処分について必要な事項を定める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第28号議案	豊島区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例（一部改正）	所得税法の一部改正に伴い、規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第29号議案	池袋大橋アプローチ耐震補強工事請負契約について	契約の方法：条件付一般競争入札 契約金額：4億4,118万3,996円 契約の相手方：ショーボンド建設株式会社東京支店	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第30号議案	目白銀鈴の坂エレベータ設置工事委託契約について	契約の方法：随意契約 契約金額：3億3,156万1,944円 契約の相手方：東日本旅客鉄道株式会社東京支社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第31号議案	都市計画道路補助176号線他道路整備工事等委託契約について	契約の方法：随意契約 契約金額：2億9,994万7,268円 契約の相手方：独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第32号議案	和解について	南長崎六丁目区有地について、土地を占有している建物所有者と和解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第33号議案	訴え提起後の調停について	民事訴訟を提起した豊島区立ソシエ東池袋に係る敷金返還請求事件について、調停する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第34号議案	平成29年度豊島区一般会計補正予算（第7号）	補正予算額：24億1,421万2,000円 補正後の額：1,234億6,990万5,000円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第35号議案	平成30年度豊島区一般会計予算	予算額：1,246億4,919万5,000円	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第36号議案	平成30年度豊島区国民健康保険事業会計予算	予算額：323億861万6,000円	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第37号議案	平成30年度豊島区後期高齢者医療事業会計予算	予算額：61億4,120万5,000円	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第38号議案	平成30年度豊島区介護保険事業会計予算	予算額：202億8,127万5,000円	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第39号議案	職員の退職手当に関する条例（一部改正）	退職手当の支給率及び調整額の見直しを行うとともに、懲戒免職処分等に係る退職手当について一部支給制限を可能とする。	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第40号議案	豊島区国民健康保険条例（一部改正）	国民健康保険法の一部改正に伴い、国民健康保険運営協議会に関する規定を改め、同法及び同法施行令の一部改正に伴い、保険料の賦課額及び賦課総額に関する規定を改め、特別区国民健康保険事業の調整に関する共通基準の改正に伴い、基礎賦課額、後期高齢者支援金等賦課額及び介護納付金賦課額の保険料率等を改定し、同法施行令の一部改正に伴い、保険料の減額の判定基準及び賦課限度額に関する規定を改める外、所要の規定の整備を図る。	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第41号議案	豊島区立公園条例（一部改正）	都市公園法の一部改正に伴い、公募設置管理制度を活用して設置される公募対象公園施設等に関して、建蔽率の特例を定める規定の整備を図るとともに、公園内において、子どもを受動喫煙から守り、子育て環境をさらに向上させることを目的とし、全面禁煙化を図る。	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
第42号議案	豊島区立区民の森条例（一部改正）	区民の森内において、子どもを受動喫煙から守り、子育て環境をさらに向上させることを目的とし、全面禁煙化を図る。	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
第43号議案	豊島区立目白庭園条例（一部改正）	目白庭園内において、子どもを受動喫煙から守り、子育て環境をさらに向上させることを目的とし、全面禁煙化を図る。	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
第44号議案	豊島区副区長の選任について	被選任者 齊藤 雅人氏	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第1号	豊島区議会情報公開条例（一部改正）	現下の社会情勢の変化に即して、個人情報等の取扱いを慎重に行う外規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第2号	豊島区議会事務局条例（一部改正）	組織改正に伴い、主査の職の設置及び職責に係る規定を改める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第3号	豊島区議会会議規則（一部改正）	1面をご覧ください。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第4号	「情報・コミュニケーション法（仮称）」の制定を求める意見書	障害者基本法第3条で手話が「言語」として定義されていることに基づき、障害者差別解消法などの障害者に関する法律において、「言語」「コミュニケーション」「情報」についての定義や権利規定を明記し、聴覚障害者の基本的人権として、社会のあらゆる場面で情報とコミュニケーションを保障するための法整備を行うことを強く要望する外。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第5号	特定都市再生緊急整備地域の指定見直しについての意見書	池袋駅西口の南方面への「特定都市再生緊急整備地域」の一部見直しを強く求める。	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第6号	政治分野における男女共同参画の推進を求める意見書	「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」の早期制定を強く要望する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第7号	核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書	核兵器禁止条約に調印し、批准するよう強く求める。	×	×	○	○	×	○	○	○	○	否決
議員提出議案第8号	「森友学園」問題の徹底究明と安倍昭恵氏の証人喚問を求める意見書	「森友学園」問題の徹底した真相究明を国会の責任において行うとともに安倍首相の妻、昭恵氏の証人喚問をするよう強く求める。	×	×	○	○	×	○	○	○	○	否決
議員提出議案第9号	財務省による公文書書き換え問題について国会において真相究明を行うことを求める意見書	財務省による公文書書き換え問題について国会において真相究明を行うことを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

請願・陳情の審議結果		自民党豊島区議団	公明党	日本共産党	民主ネット	都民ファーストの会	刷新の会	無所属元気の会	虹としま	結果
29陳情第23号	市町村民税・都民税特別徴収税額の決定・変更通知書への個人番号記載中止を求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択
30請願第1号	都市再生緊急整備地域の指定見直しについての請願	採択に賛成	採択に賛成	採択に反対	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択
30請願第2号	すべての聴覚障害者に、情報アクセス・コミュニケーションの権利を保障する法制の実現を求める請願	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択
30陳情第1号	生活保護基準の最大5%引き下げの「見直し案」に対し国に引き下げをさせないことを求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択
30陳情第2号	「豊島区町会活動の活性化の推進に関する条例（仮称）（素案）」の廃案を求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択
30陳情第3号	豊島区の平和行政についての陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続審査
30陳情第4号	国民健康保険料の値下げと低所得者の負担軽減策を求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択

# 区政のここが聞きたい

## 第1回定例会一般質問(要旨) 2月20・21日

※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

気概をもって「区民のいのち・絆」を大切に



自民党豊島区議員  
吉村 辰明

●平成30年度当初予算について  
納税義務者数の増による特別区民税の増収分は。

●特別区民税は対前年度比約10・3億円の増収を想定。そのうち、転入増による増収額が約6億円、新規課税者による増収額が約3億円と見込んだ。

●特別区におけるふるさと納税による税収の流失状況及び1億円以上の収入があった区は。

●29年度決算見込みで特別区全体では210億円から232億円の減収。28年度実績では、墨田区のすみだ北斎美術館に対する寄附が2億3千万円あった。

●17年度以降、事業費が27億円増大した要因は。

●主要要因は社会保障費の伸びで、待機児童対策を積極的に進めたことから扶助費の増大につながった。

●起債の活用方針は。

●起債を積極的に活用することとは大変重要だが、公債費比率10%以下を堅持しながら、健全な財政運営を行う。

●ワークスタイル変革について  
区のワークスタイル変革の目指すものは。

●職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスを実現し、仕事の生産性を上げ、より創造性を発揮することで、区民サービスを向上させる好循環を生み出す組織文化を醸成することが目指す姿である。

●現行体制で、国際交流、文化の祭典に積極的に取り組んでいくための方策は。

●国際文化プロジェクト推進担当部長を設置し、専任させる。東アジア文化都市推進担当部局を組織拡充するとともに、全庁体制でサポートする。

●定員管理計画の見直しは。業務の簡素化・省力化などにより、38年度に171人減の1千800人体制を目指す。

●危機管理について

●区民一人ひとりが身を守る避難行動をとるために日頃から取り組むべき対策は。

●Jアラートによるミサイル落下の可能性が発信された場合、野外ではできる限り頑丈な建物や地下に避難するなど、基本的な避難行動が示されている。日頃から、避難行動をイメージしておくことが重要。



避難行動

●給水体制強化の具体的な理由と新たな給水体制の概要及び災害時の情報提供の方策は。

●地震発生時の給水活動に給水車が無いことが大きな課題。簡易給水コンテナ2基を積んだ給水車20台で、断水地域に合計200トン給水するとともに、防災

●無線、SNSなど、複数の手段を活用し情報提供を行っていく。  
●地下鉄東池袋駅について  
副都心線東池袋駅の実現に向けた協議の推進は。

●21年に副都心線東池袋駅設置促進連絡会を発足し、関係各所へ要請行動を行ってきた。東池袋駅の建設を現実のものとして推進するため、連絡会の構成を拡大し、区をあげて活動する体制にしていく。

●アフター・ザ・シアターについて

●取組の意義や狙いは。  
●国際アート・カルチャー都市構想実現戦略の中で、アート・カルチャー鑑賞後にゆっくり余韻を楽しめる空間づくりが重要な課題となると認識。観劇・鑑賞後の余韻を楽しめる場として、新たなまちの魅力を生み出すアフター・ザ・シアターの検討に入った。

●教育について

●人工知能が進化する時代において、学校教育に求められる子供たちの資質・能力の育成は。

●正解主義を求めず、ジグソーパズル型の学力から、イマジネーション・クリエイションを求めめるレゴ型の学力へと、発展させていくこと。

●「考える道徳」「議論する道徳」へと転換が図られる道徳教育は。

●道徳教育で養いたい「人間としての在り方」について、小学校では自己の生き方、中学校では人間としての生き方について考えを深めるといった発達課題が示されている。小学校の例では、道徳的価値にかかわる事象を自分自身の問題として受け止められるようにするなど、学習

課題が示されており、転換が明確になっている。

協働と連携で創る豊島の未来



公明党  
島村 高彦

●平成30年度予算について

●不合理な税源偏在是正措置を改めさせるため、高野区長が23区でリーダーシップを発揮すべき。

●税制改正に断固反対することを表すため、特別区長会で声明を発表し、緊急に行動を起こすことを確認した。今後も断固として反対の姿勢をとっていく。

●地域共生のまちづくりについて

●様々な困りごとについて、一般区民が迷うことなく、負担もなく連絡できる連絡相談先を設け、そこから、内部で必要な支援先につなげて対応すべき。

●1カ所受けて振り分けるのではなく、複数の窓口間の連携を強化し、どこに相談しても必要な支援先につながる体制を構築したい。

●ひきこもり対策について  
40歳以上のひきこもり対策は。自立相談支援事業のみで対応するのか。何らかの連携・対策を図るのか。

●委託事業者であるNPOの専門員がコーディネートし、生活困窮者自立支援事業の専門員や関係課職員と共にカンファレンスを開催するなど、強力な連携のもとで支援を図る。東京都の専門の相談窓口も活用する。

●かたく心を閉ざし、生きづらさを抱えているひきこもりの方々への今後の具体的な対策は。

●生活困窮者自立支援事業では、専門員や保健師などの強力

な連携のもと、重層的な対応が可能である。また就労に困難を抱えている方々に対する就労支援である就労準備事業は、ひきこもりの方々にも対応が可能と考える。

●住宅確保要配慮者対策と今後の住宅施策について  
高齢者世帯等住み替え家賃助成事業を上回る支援策を打ち出すべきと考えるが。

●家賃水準や後年度負担など公平性の観点のみならず費用対効果の面からも総合的に検討していく。

●賃貸住宅のオーナーの不安を払拭し、理解を得る活動の取組に関する見解と今後の方針は。  
●不動産団体、各種士業団体、社会福祉協議会など、相互に連携した活動を発展させていく必要があると認識している。

●家賃等債務保証制度、身元保証制度をすべての不動産店ですみやかに利用できる体制を整えるべきと考えるが。  
●今後、制度の内容をよりわかりやすくお示しするチラシを作成するなど、より一層の周知に努める。

●防災対策について  
災害対応型紙カップ式自販機設置のための災害協定を飲料メーカーと締結すべきと考えるが。

●救援センターに指定しているのが主に区立小中学校であることを考慮し、他自治体の例も参考に、今後の研究課題とする。

**問** 火災保険の契約内容の確認や見直しを呼びかけ、発災後の支援につなげるべき。

**答** 区の広報やホームページで自助の徹底とともに、保険の確認や見直しについて注意喚起を行う。日本損害保険協会など専門窓口も併せて紹介していく。

●児童遊園の活用について

**問** 子ども達の意見を集約した魅力的な遊び場を整備すべき。

**答** 定められた基準に従った常に安全な施設であることが前提。その上で魅力的な施設整備を検討していく。

**問** 地域住民と児童遊園の効果的な活用方法を追求するべきと考えるが。

池袋周辺に集中した開発優先の予算から、区民の命と暮らしを守る予算に再編成を

●2018年度予算について

**問** 区長は「区民の暮らしは改善傾向にあり、生活にゆとりと潤いが生まれている」と言うが認識がずれているのではないかと認識に変わりはない。

**答** 基金(貯金)と起債(借金)が逆転し債務超過が予定されているが、今後どうなるのか。

**問** 2022年度は147億円債務超過を見込んでいる。

**答** 池袋西口公園の概算工事費26億8千万円は他の公園整備と比べて巨額である。特に8億7千万円のリング状モニユメントはやめるべき。

**問** 提案を見て大変感動した。総事業費は更に精査する。

**答** 中池袋公園は十分使える。

**問** リニューアルの必要はないが。

**答** ハレザ池袋の価値が下がる。リニューアルは当然のこと。



児童遊園



日本共産党 森 良平

**問** 現在の施設の利用状況を調査した上で、地域の実状や区民のニーズにあった新たな活用方法を検討する。全国で最も新しい公園活用を推進し、公園からまちを変える取組を区全域に広げていきたい。

**答** 再開発は反対の地権者がいる。全員合意でやるべきではないか。

**問** 権利者の3分の2以上の同意という認可要件を満たしているが、更に多くの理解をいただけるよう準備組合を指導する。

**答** 開発による超高層ビルの乱立が、人口減少社会で負の遺産になると考えるが。

**問** 負の遺産にならないように子育て支援、高齢になっても住み続けられる施策等を積極的に展開している。

**答** 国際アート・カルチャー都市に膨大な予算を出す一方、わずかな予算でできる医療費自己負担の引き下げや学校給食補助等を、なぜやらないのか。

**問** 事業費の多寡で決めているのではなく、総合的に実施の可否の判断をしていく。

**答** 民泊について

**問** 新法は、条例で区域・期間を制限することを認めている。他区のように住居専用地域や学校周辺を制限するなどルールづくりが必要と考えるが。

**答** 18区が規制をかけることだが、国は過度な制限をすることのないようにと言っている。

**問** 区域・期間の制限はしない。

**答** 分譲マンションで禁止するには法施行前に管理規約改正が必要だが時間がかかる。どう対策するのか。

**問** 規約改正が間に合わなくても禁止する意思があれば、民泊の届出を留保する。

**答** 羽田空港の増便に伴う都心飛行ルート計画について

**問** これまで国にどのような要請を行ってきたのか。

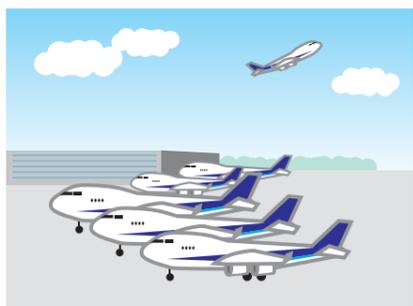
**答** 昨年、国交省に丁寧な情報提供と教室型説明会の開催を求めた。これまでの議会での議論の内容も伝えた。

**問** 多くの便が豊島区上空を飛行することについて区の考え及び対策は。

**答** 必要性は理解している。区が安全対策を講じることはできないが、落下物防止対策の徹底が大前提と考える。

**問** 反対の声が高まっていることについてどう考えるか。

**答** 今後も国と連携して説明会の会場を確保する等、広報活動等について協力していく。



羽田空港の増便

未来へと花咲く豊島のために



民主ネット 永野 裕子

●文化施策について

**問** 行政の文化事業は、福祉、教育的効果を目指してこそ意義がある。東アジア文化都市開催にあたっての成果目標は。

**答** 文化のみならず、産業、福祉、教育等各種施策を横断するこれまでの開催都市にはない事業展開を目標とする。

**問** 昨年「東京アニメアワードフェスティバル」が池袋で開催されるようになり区が特別協賛となった。地域の子ども達が参加できるワークショップや上映会等が開催されたことは大変有意義である。今後の展開は。

**答** 4日間にわたり「こどもアニメーション部門」等を開催。昨夏に、プレイメントとして昆虫を観察しアニメーションを作るワークショップが自由学園明日館で開かれた。前回好評を博した区民ひろばでの「おやこ映画館」や子ども向けワークショップは、今回も開催予定である。

**問** 20年「障害者芸術祭」開催誘致の取組状況は。

**答** 主催者からは具体的事業プランはまだ提示されていないが、全面的に協力していく。

**問** 障がい者の文化芸術事業は、文化芸術作品としてのクオリティがしっかり評価されるよう実施すべき。福祉の範ちゅうにとどめず、文化政策部局等と連携し意義あるものにしたい。

**答** 区の文化行政の原点は文化と福祉の融合。関係部局の一層緊密な連携を図っていく。

**問** 子育て支援施策について

**答** 多様化する若い世代の働き方に合わせ、テレワークやシェアオフィスの利用者等への保育サービスの積極的な検討を。

**問** 保育需要を調査の上、先行自治体を参考に可否を検討する。

**答** 以前から提案してきた助産院等への宿泊型産後ケア費用助成が予算計上された。受入れ先の確保も課題と考えるが状況は。

**問** 周辺地域の助産院と相談中。ケアを必要とする方が利用できるよう、受入れ先を確保したい。

**答** 職務環境向上のための対応について

**問** 区職員の業務効率率を上げるとともに、モチベーション維持のために、あらゆるハラスメント防止策が必要と考えるが、庁内での対応は。

**答** ハラスメント防止に関する基本方針を策定。防止対策・相談体制の充実をともに研修等を積極的に実施していく。

**問** 国際アート・カルチャー都市として国際都市を標榜するには予防接種行政を国際標準に引き上げる必要がある。見解は。

**答** 区も同様の考えである。見解は。

**問** 正しい知識に基づくインフルエンザ予防接種の推奨を。

**答** 国は予防接種の有効性を支持しており、区も同様である。予防接種、手洗い、咳エチケットの実施を啓発している。

**問** 小児へのワクチン接種費用助成の実施を望む。特に6カ月から5歳までの小児はハイリスク対象であることから、積極的に費用助成を検討するべき。

**答** 子ども施策全体のバランスを見ながら慎重に検討する。

●手話言語条例について

**問** 生活に密着した基礎自治体



手話マーク

が手話言語条例を制定する意義は重要である。当事者の意見を反映した「手話言語条例」の制

定をするべき。

国、都の動向も踏まえ、当事者等との意見交換の機会を十分に持ち、条例制定に向け検討を進めていく。

手話の普及、手話を使いやすい環境の整備を。

思いやりと感謝で築く豊島区に



都民ファーストの会としま  
里中 郁男

●平成30年度予算と財政計画について

投資事業の総額は、今後3年間の投資的経費の見込みは、総額で750億円になる。

財源はどうするのか。

国や都の補助金などの特定財源、起債、基金の繰入れを見込んでいく。著しくバランスを欠くことはない。

その投資事業の計画内容を聞かせてほしい。

平成30年度当初予算から、31年度そして東京オリンピック・パラリンピックが開催される32年度まで、高い水準で推移する見込み。

今後の街の変化と、その街ができた時にはどのような効果があるか。

庁舎移転した跡地活用のハレザ池袋、西口エリアの池袋西口公園、造幣局跡地に区内最大となる防災公園、そして南池袋公園のこの4つの公園構想、更に大塚駅前広場の整備、電気バスの運行など、先を見据えた街づくりが実現しつつある。完成すれば街の雰囲気が変わり、来街者も変わっていく。これらは街の価値を上げ、賑わいを呼び、税収入増につながることで区の将来を更に豊かなものにする。



南池袋公園

40年来開講している手話講習会に、今年度から上級者向けコースを開設し、登録通訳者増加を図っている。庁舎4階には手話通訳者派遣センターを設置。今後はICTの活用等も含め、更なる環境整備に努める。

区長にとって投資の意義は、街の価値を高め、好循環を生むものである。豊島区はますます住みたい街、訪れたい街へと大きく変わっていく。

資産を活用したネーミングライツ事業の導入は、資産の有効活用の観点から、具体的に検討の上、導入を目指していきたい。

●特別区内における大学・短期大学の設置制限について

造幣局跡地に、移転してくる東京国際大学への影響は、大学の定員増を抑制する規制は、学部の新設・増設が対象で、今回の東京国際大学の池袋キャンパスへの一部移転計画は対象外である。

●国の一方的な税制改革について

東京都知事と更なる強力な連携をとってほしい。

東京の貴重な税源を奪い取るとうとする動きを容認できないと東京都知事も述べ、他の自治体と連携しながら精力的に取り組みコメントをしている。当然、区も区長会、都及び都知事とも連携を密に取り、国に対して強く撤回を求めていく。



刷新の会  
ふるぼう知生

●公益社団法人豊島区シルバー人材センターについて

中期計画の目標の達成状況及び未達成の場合の理由は、「受注の拡大と就業率の向上」92%、「事故防止施策の推進と安全意識の徹底」「財政基盤の確立」100%、「会員の活動を支える環境の整備」が86%の進捗。未達成のものは、会員数の減少と高齢化に伴う希望者不足による。

定款と理事会運営規則の関係性及び規則改正については、同規則は定款に基づき逸脱した内容ではない。改正は不要。

センター職員の中期計画を

めざせ23区分定住率ナンバーワン。名実ともに最も住み続けたい街・豊島区の実現を！



無所属元気の会  
小林 弘明



シルバー人材センター

●豊島区の定住率の実情と、日本人定住率の現状について

本区の5年定住率は43%で、23区で18番目。5年間の間に約6割の人が豊島区から引っ越していったらどうしたら住み続けてもらえるか施策に反映するためにも、5年毎の国勢調査に頼るのではなく、区独自でも調査が必要では。

国勢調査でデータ収集分析することが適当と考えており、区独自で調査を行う予定はない。



定住

●定住率向上についての施策と、今後の目標について

本区に長く住み続けてくれ

た方や若者・子育て世代への冠婚葬祭の費用補助について、他自治体ですでに長期居住促進策が実施されている。区の見解は、公平性と効果の面から疑問

誰もが心地よく暮らせる魅力ある豊島区を



虹としま  
石川 大我

●旧朝日中学校用地の活用は、未来を見据えた計画を

旧朝日中学校跡地に「区民ひろば第二朝日」の併設を。

世代間交流等の事業展開のためにもスペース確保は必要。検討を進めていく。

思春期のLGBTサポートセンターの併設を。先進的な取組として有意義。

区民ニーズの把握や他自治体の動向把握に努め、検討する。



旧朝日中跡地には、巣鴨・西巣鴨地区が誇れる施設を

幸せで豊かな街を子孫に引き継ぐために



自民党豊島区議員  
松下 創一郎

●異常気象への対応について

ゲリラ豪雨対策の進捗状況や今後の展望と、ひょう対策は、雨水樹の蓋をグレーチング(鋼製の格子蓋)に換えたり柵を増設したりすることで、排水

処理能力を高め、豪雨による冠水被害防止に努めている。今後水被害状況に応じ、必要な措置を講ずる。また、降ひょう直後に道路パトロールを実施し、ひょうで落ちた枝や葉が詰まっ

●新ホールは区民目線の運用を

区民利用で、施設利用料が

要領改正を導いた区として、今まで以上に取組を。

改正を好機と捉え適正な指導に引き続き努める。学習会の実施などを計画したい。

●「世界自閉症啓発デー」の取組について

イメージカラーの「青」をテーマにした取組を。

ブルーのものに身をつけるなど、実施を検討する。

ている雨水樹の清掃等を行い、排水の阻害の解消に努める。

**問** 大規模な降雪・積雪は以前より頻繁になっている。路面の積雪やアイスバンの対策は、積雪後の初期対応として、

**答** 積雪後の初期対応として、駅周辺の歩道や、勾配が急な道路の除雪作業を優先的に行っている。必要に応じて融雪材を散布し、早期の歩行者の安全確保に努める。

**問** 富士山噴火の被害想定と、今後の対策は。

**答** 「東京都地域防災計画火山編」の平成21年度修正では、区内では2〜10cm程度の降灰が想定されている。本計画に基づき、区は降灰の運搬・収集などを行っていく。

●部活動のあり方について

**問** スポーツ庁のガイドライン骨子案と比較した区内中学校の運動部・文化部の活動状況は。

**答** 現在、活動日数は、週あたり5日が37・7%、4日が45・9%、3日が9.8%。部活動時間は、平日は1〜2時間、休日は3〜4時間程度である。定期考査前の活動自粛も含めて、オフシーズンの設定などが行われており、概ねガイドライン骨子案で示されている基準内である。

**問** 岐阜県多治見市では、顧問教員が管理する部活動は下校時刻までとし、その後は地域のクラブチームとして活動している。同様の方式を導入することは、学校と部活動との関係や、部活動と生徒、スポーツその他の文化芸術活動との関係を、区は今後どのような方向に進めるのか。

**答** 「部活動は教育の範ちゅうである」との視点から、活動の選択とスポーツ・文化の愛好の基盤づくりが人格形成に資する

よう進めていく。あわせて、外部指導員制度の効果的な活用を今後も進め、多治見市の事例についても注視していく。

●新たな学びの手法について

**問** 2020年東京オリンピック・パラリンピック以降の国際理解教育の展望は。

**答** オリンピック・パラリンピック教育は2020年以後も定着する教育遺産となる前提で実施している。豊島ふるさと学習の成果や、英語を駆使した「おもてなし活動」は、児童生徒の心の中に感動をいつまでも息づかせていくと考えている。

●自転車と区民の関係について

**問** 自転車には様々な種類がある。どのような想定で、自転車走行環境計画案を策定したのか。

**答** 本計画案では、道路交通法と同じく、自転車の種類によっ

誰もが暮らしやすい 魅力ある豊島に



公明党 高橋佳代子



目白古道

て道路走行を区別していない。

**問** 都道や国道以外でも、目白古道のように十分幅員がある生活道路も自転車走行環境整備の対象路線に含め、整備すべきと考えらるか。

**答** 将来的に、目白古道において、十分な幅員が確保された段階で、計画の見直しのタイミングを捉えて、整備計画路線にす

て道路走行を区別していない。

**問** 都道や国道以外でも、目白古道のように十分幅員がある生活道路も自転車走行環境整備の対象路線に含め、整備すべきと考えらるか。

**答** 将来的に、目白古道において、十分な幅員が確保された段階で、計画の見直しのタイミングを捉えて、整備計画路線にす



グリーン大通り

自治体本来の役割を自覚し、区民の権利を守る区政を



日本共産党 小林ひろみ

●憲法25条生存権を保障する政策

**問** 今回の生活保護基準の引下げは妥当ではなく、十分な議論が尽くされたとは言えない。改めて撤回を求めるべき。

**答** 十分議論がなされておらず、撤回を求めたい。区独自の一般財源からの繰入れも続けるべき。

**問** 国民健康保険料のこの間の値上げは、今や区民の負担能力を大きく超えている。高過ぎる保険料について区長の認識は。

**答** 負担感の増加は認識をしながら、制度の運営には必要。財政支援の拡充、保険料負担抑制の激変緩和制度の継続を都に求めるべき。

**問** 繰り返し強く要望していく。来年度値上げしないためにはいくらの一般財源が必要か。

**答** およそ3億円と考えている。

※冠事業…「ふくろ祭り」に「東アジア文化都市協賛事業」の名称を付ける等、特定の事業を内外に発信するため、一定の事業期間内に区が主催・共催する事業等に特定事業の名称を付けて実施する事業をいう。

# 常任委員会

## Q & A

### ◆ 予算特別委員会 ◆

#### 総務委員会

開会日 2月23日(金)・27日(火)  
 案件 議案17件・陳情1件・報告5件等

●公益的法人等への職員の派遣等に関する条例(一部改正)

問 オリンピック・パラリンピックの組織委員会の規模は。

答 29年度は、千133人と聞いている。大会が近づくにつれて業務が増加し、30年度はおおむね2千400人体制にまで拡張するとの説明を受けている。

問 本区からの現在の派遣人数と今後の推移は。

答 現在3人を派遣している。30年度から6人に増やしていくことを想定している。

#### 区民厚生委員会

開会日 2月23日(金)・27日(火)・28日(水)  
 案件 議案14件・請願1件・陳情4件・報告9件等

●豊島区町会活動の活性化の推進に関する条例

問 町会活動の活性化を、今どうして取り上げるのか。

答 平成28年11月に町会連合会から条例化に関して要望があった。暮らしやすいまちづくりのために重要な役割を果たしている町会だが、その活動や意義が区民に十分伝わっておらず、加入率の低下、役員の担い手不足などに苦慮している。条例により町会活動を活性化させ、支えあいを大切にする地域コミュニティを実現したい。

#### 都市整備委員会

開会日 2月26日(月)  
 案件 議案3件・請願1件・報告2件等

●豊島区立公園条例、豊島区立区民の森条例及び豊島区立目白庭園条例(一部改正)

問 公園全面禁煙化の目的は。

答 子どもを受動喫煙から守り、公園環境を向上させ、子育て環境を更に充実させること。

問 公園の禁煙化によって、路上喫煙やポイ捨て等が増加し、環境が悪化することへの対策は。

答 ルール・マナーの周知やパトロールの強化を行う。また、他自治体の事例を参考にしながら、更に検討していく。

#### 子ども文教委員会

開会日 2月26日(月)  
 案件 議案5件・報告8件等

●としま区民センター条例

問 2階、3階の大規模トイレの清掃への対応は。

答 全体的なトイレの清掃とは別に人員を確保する予定。

●豊島区立芸術文化劇場条例

問 ネーミングライツの募集は。今後、導入を含めて愛称を検討していく。

問 区民優先で鑑賞できる場を提供することは。

答 団体購入という形で区が席を確保し、公演を区民の方に見てもらおう場を作りたいと考えている。

2月14日の本会議にて、平成30年度一般会計等4会計予算を審査するため、17名の委員からなる予算特別委員会を設置しました。8日間にわたる質疑を行い、最終日の3月19日には、会派等ごとの意見表明(要旨は8面)後、採決を行った結果、一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計について、いずれも賛成多数で原案を可決することとしました。以下、質疑内容等の概要をお知らせします。

#### 議会費

●議長交際費について

問 最近の執行率と予算額減額についての考えは。

答 執行率はおおむね70〜90%で推移。会合数等により変動。議会を代表する議長の交際費に不足があつてはならないため、予算額の減額は考えていない。

#### 政策経営費

●区の広報について

問 リニューアルでより見やすくなった。進めている取組は。

答 デジタルブック、民間アプリ等を活用しながら区の情報をお届けしていきたい。

#### 総務費

●本庁舎の維持管理について

問 旧庁舎と比べ環境庁舎である新庁舎の光熱水費の状況は。

答 単位面積当たり、約2割の節減。環境負荷軽減に積極的に導入したLED照明の効果が大きい。

#### 区民費

●地域区民ひろば管理運営経費

問 全日曜日開館になるが。

答 アンケートでは、日曜開館を知っているが80%で、残り20%のご存じない方へ周知をしていく。また、日曜日には交流できる事業を行う。

#### 福祉費

●基幹型地域包括支援センター運営経費

問 庁舎内にある基幹型地域包括支援センターには、どのような目的があるのか。

答 区内8カ所にある高齢者総合相談センターを後方支援し、更なる質の向上を目指すことを目的としている。

#### 衛生費

●ロタウイルスワクチン接種助成事業

問 助成金額はいくらか。

答 平成30年4月1日以降に出生した乳児が対象。2回接種ワクチンは1回あたり6千円を2回まで、3回接種ワクチンは1回あたり4千円を3回までで、合計1万2千円を上限として助成する。

#### 環境清掃費

●フードロス削減対策について

問 30年度の取組は。

答 区の施設での常設のフードドライブ窓口の設置や区民向け講座の充実、デパート等と協力しての、フードレスキューの取

組実施等を検討していく。

#### 都市整備費

●池袋駅案内誘導サイン計画について

問 今後のスケジューリングは。

答 ガイドラインに基づく事業者との調整を終え、今後は設計、施工と進め、来年秋には共通化されたサインがほぼ設置される。

●公園トイレの改修について

問 今後の改修計画は。

答 30年度、31年度で改修が必要な残る70カ所を改修予定。トイレの壁面に絵を描いたり、内装をラッピングしたり、工夫をしながら改修を進めていく。

#### 文化商工費

●東アジア文化都市について

問 2019年の開催を一緒に盛り上げていくために、区民のアイデアや意見を反映させることができる機会を設けることは。

答 区民参画を実現するための取組の一つとして、事業の公募を検討したい。

#### 子ども家庭費

●待機児童対策について

問 3月から始めた区独自の保育ニーズ調査とは。

答 区内の保育需要をできるだけ正確に把握するため、妊婦が妊娠届を提出した際に、保育園の利用希望を調査するもの。

#### 教育費

●子どもスキップについて

問 職員の人材確保は。

答 新たな非常勤職員(スクール・スキップサポーター)を新設し、募集を開始する。学校における教育活動から放課後にわたる切れ目のない支援を行うこ

とを目的としている。

#### 国民健康保険事業会計

●医療費の適正化対策

問 他自治体では重複受診・頻回受診等への対策を行っているが、本区の実施予定は。

答 研究段階であり、まだ実施には至っていない。

#### 後期高齢者医療事業会計

●保険料滞納者に対する差押え

問 後期高齢者への差押えや資格証発行はやめるべきでは。

答 財産調査を十分行い、差押え可能と判断した滞納者のみを対象に実施している。今後、納期を守って納めている方との公平を期すよう努める。

#### 介護保険事業会計

●認知症初期集中支援推進事業

問 内容と今後の予定は。

答 認知症の初期段階で、医師、看護師、福祉専門職の3人のチームが6カ月をめどに支援を行う。30年度からの本格実施に向け、制度の周知を図っていく。

#### 予算特別委員会委員名簿

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎村上 宇一 (自民党豊島区議団)
- 島村 高彦 (公明党)
- ふるぼう知生 (刷新の会)
- 小林 弘明 (無所属元気の会)
- 藤澤 愛子 (自民党豊島区議団)
- 松下創一郎 (自民党豊島区議団)
- 森 とおる (日本共産党)
- ふま ミチ (公明党)
- 西山 陽介 (公明党)
- 星 京子 (都民ファーストの会)
- 芳賀 竜朗 (自民党豊島区議団)
- 永野 裕子 (民主ネット)
- 儀武さとる (日本共産党)
- 中島 義春 (公明党)
- 河原 弘明 (都民ファーストの会)
- 大谷 洋子 (民主ネット)
- 渡辺くみ子 (日本共産党)

# 平成30年度各会計予算に 対する各会派等の 意見表（要旨）

## 自民党豊島区議団

## 公明党

## 日本共産党

## 民主ネット

## 都民ファーストの会としま

## 刷新の会

## 無所属元気の会

平成30年度一般会計及び3特別会計予算に賛成する。30年度予算は、5年連続で財政調整基金を取り崩すことなく編成するなど財政健全化の流れを維持した予算編成であると評価できる。その一方で、投機的と言わざるを得ない投資的経費も一部みられた。

款別に述べる。受動喫煙対策として、何処に喫煙所を設けるか慎重な検討を。望まない受動喫煙を減らし、喫煙者がルールを守ること

で気持ちよく吸える環境作りを要望する。池袋西口公園の整備費は27億円、うちパーゴラが8億円と高額である。費用や安全面など、

区民が納得できる説明を。副都心移動システムは、導入によりどのような価値が創出されるのかまだ見えない。区民の「最大の利益」のため導入についても引き続き検討を。トキワ荘復元施設建設の積算は、9億5千万円と莫大。周辺住民の声を聴き、費用圧縮などの

検討を。特別会計の国民健康保険事業会計では、外国人への対策等、更なる収納率の向上を。支払いが困難な方に対しては、きめ細かな対応を要望する。

平成30年度一般会計予算及び3特別会計予算の可決に賛成する。総括として、持続発展都市に向け、区民サービスの充実等、発展的な施策を評価する。

【款別の主な意見と提案】  
政策経営費・総務費等  
多言語タブレットの活用等多文化共生の支援強化。「東京くらし防災」の周知徹底と設置推進。

区民費・福祉費・衛生費  
障がい者の排泄設備の簡素化など支援強化。ロ

タウシルスワクチン助成対象の拡充。健康長寿延伸のため、検診事業の充実。環境清掃費・都市整備費  
自転車ナビラインの設置。駐輪場定期利用制度の見直しと利用料金の精査。大災害時の輸送道路確保の取組強化。

文化商工費・教育費等  
生産性向上特別措置法案の導入促進計画の策定。待機児童対策に実態把握のアンケートト実施。子どもスキップの職員確保。

国民健康保険事業会計  
医療費削減に向け重複受診、頻回受診等の調査研究  
介護保険事業会計  
認知症初期集中支援事業の充実と周知徹底。

2018年度一般会計及び3特別会計予算に反対。第一に福祉・くらしが最優先になっていない。わが党の要求で生活保護の入浴券増、子どもスキップ職員

の待遇改善、中学生の長崎平和祈念式典参加等の前進面はあったが、防災、住宅子育て、高齢者、障がい者施策等いずれも不十分。また総合窓口の民間委託で起こった個人情報不適切な使用は重大問題。

第二に区民を無視し大企業と来街者のための予算である。「国際アート・カルチャー都市」の東アジア文

化都市、ハレザ池袋、池袋西口公園、電気バス、市街地再開発等、膨大な費用がかかるにもかかわらず一方的に強行されている。

第三に将来に禍根を残す財政運営になっている。これら膨大な費用が投資的経費増の要因となり、今後の債務超過を生み、5年後の起債（借金）は48億円と今年度比200億円の増。必要な区民サービスを更に圧迫するのは必至である。

保険料を値上げする国民健康保険、後期高齢者医療必要なサービスが受けられない介護保険も反対。

4会計予算の可決に賛成する。オリンピック・パラリンピック後の街の活力維持に資する、国際アート・カルチャー都市を具現化する戦略や少子高齢化に対応し区の強みを生かす戦略等が見られる点を評価する。

防災施策ではインバウンド外国人対応を民間事業者との連携で急ぐべき。ロタウイルス予防接種助成経費の計上を評価。接種スケジュールのアドバイスなど丁寧な対応を。宿泊型産後ケア助成経費の計上を評価。

小公園等を区民の憩いの場・園児の安全な遊び場として活かす施策に期待。空き家対策は発生抑制に土業等との連携を。一人親家庭

等が利用しやすくなる病児保育の助成枠拡大を評価。起業支援の成果検証を。子育て世代の起業者の保育の課題にも着目し、働き方・暮らし方の総合的支援を。障害者差別解消法施行3年目の検証を。基金と起債の将来見通しを見据え財政計画の再検証を。庁舎等建設

基金の目的外運用が続いた過去の財政危機の構造を総括し今後活かすとともに、財政計画の将来見通しに会計制度を活用されたい。

平成30年度一般会計予算3特別会計予算の可決に賛成の立場で意見を述べる。今回も「ワイズスペンディング（賢い支出）」税金の有効活用の観点を中心に、都民ファースト視点で審査した。持続発展可能都市の実現に向けて、子育て関連事業や、投資事業に積極的に予算を配分し、未来につながる30年度予算と評価。

以下、款別に意見を述べる。政策経営費では、旧第十中学校跡地のスポーツ施設整備に期待。総務費では、女性活躍の場を推進し、働きやすい環境づくり施策を。都市整備費では、空家活用条例により空家活用を更に進め、マンション内でのト

ラブルがないようサポートを。公園の全面禁煙化を実施し、受動喫煙対策を。文化商工費では、オリンピック・パラリンピック気運醸成事業を進めるとともに、子ども達へ共生社会実現に向けての教育の充実を。

3特別会計について、全国に先駆けて実施する選択的介護は、持続可能な制度にしていくためにも、都と連携し、区の実情に踏まえたモデル事業の実施を望む。

平成30年度一般会計並びに3特別会計予算について、賛成の立場で意見を述べる。款別にみると、議会費・政策経営費・総務費では、議長交際費を抑える努力を。若年女性層の区内定着率・人口増加等に貢献している女性にやさしいまちづくり担当課の予算の充実を。投票事務従事者への謝礼を抑える努力を。区民費・福祉費・衛生費では、多重なワクチン接種による0歳児の体への負担がないのか議論を。環境清掃費・都市整備費では、賃貸マンションへも耐震診断・耐震改修費への助成を。池袋西口公園整備工事における、特にパーゴラの経費大幅削減に向けた努力を。文化商工費・子ども家庭費・教育費では、新ホールの収支予想について赤字とならない論理の構築を。その際、経済波及効果からもたらされる税収にも言及を。ISS活動については、高コスト体質からの脱却と認証制度への参加

子どもの女性にやさしいまちづくり、国際アート・カルチャー都市推進を柱に、今後も多額の支出が予想されるため、公民連携による財源の創出や支出の削減、区民サービス向上が強く求められる。そのため、にぎわいの創出が区民サービスにつながるのか、公民連携や区民参加が意識された予算、事業となっているかを念頭に審査した。

個別の案件では、20東京オリンピック・パラリンピックという貴重な機会に、豊島区の子ども達が関わられるよう、エスコートキッズ等、区からしっかり働きかけるよう確認したほか、整備中のフリーWi-Fiが来街者だけでなく区民にとっても使いやすいものとなるよう更なる整備を要望した。

また、池袋西口公園のリング屋根だけで約8億円は明らかに高額。それを活用した財源捻出など利活用できるような見直しを求める。

若者世代、子育て世代が豊島区に定着し、住み続けてもらえるよう、危機感を持って予算と事業の執行に努めることを要望し、平成30年度一般会計予算及び3特別会計予算に賛成する。